20170416

復活にあるメッセージ(Ⅰコリント15:19-20）

いきなりサタンの話をしてびっくりするかも知れませんけれども、サタンが一番嫌がる単語があります。逆に信者の私たちにとって最高の武器であり、また、喜びとなる単語でもあります。それが復活という言葉であるということをまず述べておきたいと思います。なぜかといいますと、復活というのは、サタンが仕掛けていたすべてのしわざはもう失敗に終わったというサインです。そして、イエス様が異端だと思っていたのに、実は本当の本物のキリスト様だったというメッセージなのです。ですから、サタンにとっては一番困る言葉になるしかありません。イエス様が復活なさったあと、お墓の中が空っぽになったときに、イエス様の復活を否定するために、弟子たちがこっそり来てその死体を盗んでいったという噂を広めていたのです。盗難説というものがあったのです。それほど復活を認めると大変なことになるからです。しかし、あちこちから「もう見たよ」という目撃者が起こされるようになりますと、「違うよ。弟子たちがあまりにもイエス様に会いたいという気持ちが強かったので、幻を見たのだろう」という噂を広めるこまた広めることになりました。幻なのだと。それが幻説です。それでもその目撃の情報が途絶えることなくずっと続いてどんどん人数が増えるので、最終的にこのように言いました。そうならば私たちが完全に殺していなくて、十字架の上で気絶したのだろうというようなことを言っていたのです。気絶というのは、結局は今生きていらっしゃるということになるでしょう。どんなにイエス様の復活を否定しようとしても、それは結局は無理なのです。イエス様は本当に死者の中から、お墓の中から3日目に預言通りによみがえられました。ですから、信者のクリスチャンの私たちは、そのイエス様の復活を心から喜んで復活に込められているメッセージがなんなのか、その復活にあるメッセージに耳を傾けなければいけません。今日は聖餐式もやっていたし、時間的にそんなに長くありませんので、大きくいつでも復活を思い出すたびに、毎日が復活祭なので、この二つのことは覚えやすいし明確なので、これはメッセージとして皆さんの心にしっかりと刻んでいただきたいなと願います。

それは言うまでもなく、第一に、イエス様の復活は、死の恐怖はすべて終わったというメッセージなのです。終了したということです。クイズ番組などを見ると「5秒、4秒、3秒、2秒、1秒、終了」と言います。人を捕らえていた、一人の例外なく全人類が捕らわれていました。死の恐怖はもう終了したのだ。イエス様の復活を覚えるたびに、皆さんの心の中に、このメッセージが響くようにならなければいけません。そのために、いつから死が始まったのか、人間の死の原因というものは何なのか、よくわかっていなければなりません。人間というものは、自然から進化してできたものではありません。創造主の神様が特別な意味をもって人を尊い存在として作られました。人間だけが神様とともにいて、神を知り、神の祝福をいただいて、神を信じることができるたましいを持つ唯一の存在でした。それを神のかたちと言います。神のかたちに人を想像なさって、その人を祝福されました。生めよ。増えよ。地を満たせと。神によって作られた万物を神の代わりに治める祝福の存在として作られました。

それから、神様は、悪魔の誘惑をご存知だったので人を守るためにおっしゃいました。善と悪を知る木を作りましたので、その実をとって食べてはいけない。他のすべては自由に食べていいのだけれども、とおっしゃいました。もしそれを食べるその時には、あなた方は必ず死ぬとおっしゃいました。しかし、人はそのように神様が言われているのにも関わらず、蛇を通して悪魔がやってきて嘘をつきました。「本当に食べてはならないのか」「食べてはいけませんよ」「違うよ。それを食べるとあなたがたが神のようになるから、神様はそれを恐れてそう言っていただけなのだよ。食べなさい」と言われて、神様がおっしゃったことを全部裏切って、悪魔の言うことに聞き従い、その実を取って食べてしまいました。その時から死というものが、神様がおっしゃった通りに人間の世界に、人生に入ってくるようになったわけです。それが創世記2:17に書いてあります。創世記3:6を見ると、それをとって食べてしまいましたと書いてあります。そのときから、実は死というものは、私たちが息を引き取るそれだけを意味するわけではありません。神様との関係をもって、神様がともにおられることがいのちなのです。だから、まず、人が悪魔に騙されて神を裏切り、神様との約束を破って、それを罪と言いますが、罪を犯した結果、人がどうなってしまったのかというと、聖書のエペソ2:1には、自分の罪過と罪との中にあって死んでいたものであってとあります。残念ながら、生まれながら神の御怒りを受けるべき子らとして生まれると言われていますそれが死なのです。神によって作られて、神様に祝福されていた人間が、悪魔に騙されて罪を犯した結果、神と二度と会うことができなくなりました。神を失ってしまいました。神様からのすべての祝福が全部遮断されることになりました。これがまず死なのです。その結果、人は神なしで自分で生きようとするから、自分なりに一生懸命頑張るしかありません。でも、それがすべて疲れて重荷を負うことになってしまうのです。悪魔、サタンが作り上げた世の流れというものがあって、本物の神でないもの、偽物の神をたくさん作って、その偽物の神を拝むようにします。それを偶像崇拝と言います。また、それを宗教と言います。それに従うようにして、結局は神様に会うことができなくなり、そして、滅びるしかないようにしてしまいました。だから、世の流れに従い、自分の知らないうちに悪魔に従って生きるようになること、それが死なのでのです。その結果、聖書のヘブル2:15を見ると、一生、死の恐怖に繋がれて、死の奴隷として生きるようになると言われています。だから、死の恐怖に繋がれて生きること、それがまた死なのです。最初から滅びるしかない運命を抱えて、その滅びの運命の中を歩くようになりました。誰がなのでしょうか。聖書には、すべての人は罪を犯したので、神からの栄養受けることができない。一人も例外なくすべての人がそうなのです。ローマ6:23には、罪から来る報酬は死ですと書いてあります。癌にかかって死んで、歳をとって死ぬわけではありません。神によって作られて、神様と一緒にいるべき人間が、悪魔に騙されて神を裏切り、神に罪を犯した結果、永遠に神から離れることになりました。それが死の原因です。そこからすべての人の問題が始まることになりました。

そして、死んだあと、最後にはどうなってしまうのか。このような内容が死の原因なので、ヘブル 9:27には、人間には一度死ぬことと、死後にはさばきを受けることが定まっているとあります。ですから、どんなに頑張っても残念ながら、頑張ることは悪くありませんけれども、人生そのものは絶望的であるしかありません。人は自分なりに滅びの運命を抱えて、死の恐怖に繋がれているのに幸せになりたいということでがんばるわけです。努力をしますけれども努力が通じません。聖書は、その死の恐怖に繋がれてこの死の問題を解決していない限り、努力をすればするほど、最終的には、人殺しという結果になると言われています。また、お金をたくさん儲けて経済的に裕福になっていても、ノアの時代の大洪水のように災いを止めることができないわけです。世界の歴史を通して、私たちは明確にそれを見ています。そして、皆が、発展すれば、成功すればと、それを追い求めて頑張っています。しかし、成功してもバベル塔のように崩れて崩壊して、家庭が崩壊して、精神的にも崩壊して、社会環境、様々な部分が崩壊していくようになるしかありません。お金があっても努力をしても、成功を収めても希望はありません。なぜなら根本的に死の人生を歩いているからです。ですから、努力して経済を手に入れて、一生懸命がんばって成功を収めたにもかかわらず、残るのはこれしかありません。病しかありません。精神的な病、心の病、また、病名もよくわからない癌、不治の病などが残るようになるし、そして、最終的には、疲れるようになるし虚しくなるしため息が出るしかありません。人生というものが絶望的なものなのです。イエス様の復活は、このような死の恐怖と絶望的な人生すべてをお墓の中に葬ったというメッセージなのです。復活というものは、お墓の中に葬られたということが大前提なのです。イエス様の復活のメッセージは、死の恐怖、絶望的な人生、どうにもならない罪ある人生、滅びの運命などをひっくるめて全部お墓の中に葬ったということです。十字架の上でイエス様が宣言されました。すべて完了したのだと。神の子イエスが現れたのは、悪魔のしわざを打ち壊すためです。悪魔のしわざを打ち壊して、死の恐怖と罪と絶望の人生、滅びの運命をお墓の中に葬ることができるイエス様、このイエス様の他には人生の問題の解決はありません。しかし、幸いなことに私たちがまだ罪人であったときに、私たちとは全く関係なく、イエス・キリストが恵みのゆえに一方的に私たちの罪を全部背負って十字架で死なれ、そして、すべてをもって、お墓の中に葬られました。悪魔のしわざを打ち壊したのです。だから、死の恐怖の人生は終わったのです。絶望の人生は終了しました。これが復活に込められたメッセージなのです。これがわかっている人は、このように大胆に言います。「死、お前。お前の力、お前の武器はどこにあるのか。死、お前なんかへっちゃらなんだ」。イエス様を信じていらっしゃるでしょうか。私たちも皆死にます。しかし、イエスにあって死ぬ事は次元、意味が全く違います。今まではお金があろうがなかろうが関係なく、絶望の滅びの運命の人生にとらわれて生きてきた人生なのです。だから、頑張ってもつまずくようになるしかありません。原因もよくわかっていないままです。皆が幸せになりたいでしょう。そうでない人間はいません。しかし、思い通りにいかないのではないでしょうか。皆さんも気づいていない、見ることがなかった深いところに、神から離れてしまった罪というものがあったわけです。イエス様が、その絶望と死の恐怖と滅びの運命の人生を全部丸ごとひっくるめてお墓の中に葬ってしまいました。終了です。これが復活を思い出すたびに、皆さんが思い浮かべないといけないメッセージです。

それから、もう一つ、復活は、このような滅びの過去が終わり、新しい希望の人生が幕を開けたのだ、これが復活のメッセージです。今皆さんにどのような事情があり、どんな問題があるでしょうか。そこでため息をしたり、そこで落胆したり、絶望に陥ったりしてはいけないし、そうする必要はありません。イエス様の復活を宣言してください。新しい希望しかない、そのような人生が始まったというのがメッセージなのです。復活のイエス様を信じて受け入れた人は、その瞬間、また永遠に、新しい創造のわざがその人に行われるようになります。つまり、イエス様の復活を信じているクリスチャンの皆さんは、存在そのものが希望なのです。障害を抱えていても、辛い過去を持っている人でも、今現在辛い現実があるにしても、一切関係なく、復活のイエスを受け入れて心に持っている皆さんは、希望なのです。存在そのものが、希望の存在です。以前のものは過ぎ去り、すべてが新しくなりました。死からいのちに移っているのです。あなたがたは、聖霊が宿っている神の神殿であることがわかっていないのか。何をどうするか、どうなっているかを考える前に、イエス様の復活を信じている皆さん自分自身の存在そのものが希望なのです。これを覚えていてください。そのように新しく変わりました。ですから、残りの生涯、今までは考えることもできなかったし、世の人は真似することができないまことの勝利の人生を歩む、そのような希望があります。必ず勝利の人生を歩むことができます。条件、環境、状況等と一切関係ありません。だから、イエス様がおっしゃいました。あなたがたは、それを知らなくてもいい。なぜイエスは復活して、あなたがたは復活のイエスを信じている幸いな希望の存在なので、そういうことは知らなくてもいい。弱さがあるのか、知らなくてもいい。周りがきついのか、知らなくてもいい。つまり、条件、環境、状況等、全部乗り越えて勝利できる希望が私たちにはあります。ローマ8:28には、すべてのことを働かせて益となる、そのような希望の人生が私たちを待っています。ローマ8:37には、あなた方は、圧倒的な勝利者なのだとあります。このような勝利が待っている希望の人生が幕を開けました。ピリピ4:13、刑務所の中でパウロがいました。お腹が満腹の時にも、お腹が空いている時にも、刑務所の外でも中でも、人が私を認めてくれても認めなくても、無視されても、そして、好きになっても一切関係ありません。私を強くしてくださる方によって、できないことは何もありません。何一つ問題になりません。これがクリスチャンです。なぜならイエス様が、復活したからです。イエス様はキリストだからです。復活のイエス様を信じるものは、イエス様とともに歩む者ではありません。イエス様がその人の内に入って、永遠に離れることなく一つになって、主が、私の人生を歩んでくださるという存在なのです。つまり、因果応報に私たちは漬物みたいになっているのですが、因果応報の法則をすべて破って乗り越えて、勝利する希望の人生、それが始まりました。厳しいからダメ、誰も助けてくれないので無理、私は弱いから、能力がないからダメ、無理、難しい、それが因果応報です。それは、復活のクリスチャンには、もう終わりなのです。それにもかかわらず、なぜなのでしょうか。オンリー、聖霊が臨まれると力を受けます。クリスチャンだけに許されている条件、状況、環境、因果応報が何も問題にならないで、それを全部乗り越えることができる聖霊の満たしの約束が私たちにはあります。復活の後から。そのような聖霊の満たしによって、因果応報に一つも引っかからずに勝利できる、私を強くしてくださる方にあって、すべてができるそのような希望の人生が私たちを待っているのです。そして、その力をもって、この暗い世を生かす契約が希望として私たちには与えられています。何を食べるか飲むか、何を着るかなどのテーマはもう終わりました。イエス様はおっしゃいました。あなたがたが私を選んだのではなくて、私があなたがたを選んだのだ。それは、あなたがたが、多くの実を結ぶ食べなのだ。これからの人生、復活を通して、復活のイエス様を信じている皆さんは、ただ食べるために、ただ家族のためにではありません。いのちの実を結ぶそういう人生を歩く希望が私たちを待っています。王である祭司と言われるものであるし、私たちのテーマは神の国となるわけです。昇進するか、売り上げが上がるかどうかは、私たちのテーマではありません。それはついてくるものでなければいけません。神の国なのです。そのような規模の人生です。もしイエス様の復活がなければ、私たちは何を食べるか飲むか、そのようなテーマであっぷあっぷしながら人生が終わったでしょう。お金が少し回あるかないかの違いしかありません。本当に生きがいのある、意味ある人生を送ることはできなかったでしょう。最後の希望は、このような世の光としての人生を歩み、天国に迎え入れられるように保障されている希望があるし、だから、キリストにあって死ぬ人は幸いだと言われています。皆さん死も恐れないようにしてください。

それから、歴史の最後の日、地球最後の日、イエス様は再臨なさいます。その時に私たちはイエス様と同じように復活すると言われています。それが最後の希望中の希望です。だから、今現在何をやっても、どのような問題にぶつかっていても思い煩わないで、絶望せずに、落胆せずに、否定的な思いに走らずに、復活にあるメッセージを握って希望の中を歩いていただきたいと思います。時間があまりないので、皆さんぜひ聖書を調べてください。Ⅰコリント15:20、51、52などを見てください。最後の日、ラッパとともにイエスを信じているものは皆よみがえるようになるとあります。新しい天と新しい地で暮らすようになると言われています。これが復活に込められているメッセージです。死の恐怖はもう終了です。この世の中が真似できない新しい希望の人生が幕を開けました。いつも希望をしっかりと見上げるようにしてください。どんな状況でも。

結論を申し上げます。イエス様が復活なさいました。ですから遠く離れた昔の話のように思わずに、イエス様は今、天の御座において、万軍の主としていらっしゃいます。いつでしょうか。今です。そして、その万軍の主のイエス様が、今私たちとともにおられ、ともに歩んでいらっしゃいます。いつでしょうか。今です。だから、今の信仰を持たなければいけません。皆さんが心配して不安がっている今、復活のイエス様は皆さんと一緒にいらっしゃいます。復活の一番大きな意味は、今なのです。NOW。そして、人間の目から見ると絶望と落胆、ため息をするしかない状況が、今あるかもしれません。これからそのような状況にぶつかるかもしれません。その時に、戸惑わずに、それをどうにかしようと暴れずに、そこでイエス様の復活を宣言してください。復活のメッセージを宣言してください。死の恐怖は、絶望の人生は終了しました。私には希望しかありません。そこで希望を正しく見つけるようにしなければいけません。それ勝利です。その裏で暗闇のサタンの勢力が、砕かれるようになるのです。皆さんは神の国が臨まれることを、身をもって体験するようになるでしょう。この2つの大きなメッセージを死ぬときまで忘れないようにしましょう。イエスの復活、1回ついていってください。死の恐怖は終了。希望の人生は始まった。

祈り）

恵み深い天の父なる神様。イエス様の復活を記念して、今も天の御座におられ私たちとともにおられる主イエスの御名をほめたたえます。その復活にあるメッセージを今日いただきました。このメッセージがひとりひとりに、レムナントの子どもの心にまで、しっかりと刻まれることによって、不安に打ち勝ち、状況、環境にとらわれず、希望のうちに勝利の人生を全う出来るようにひとりひとりを祝福してください。そのことによって今も暗やみにとらわれている世の人々を助けることができますので、その承認のところまで私たちが進むことができるように、ひとりひとりを導いてください。イエス様の復活を改めてほめたたえつつ、イエス・キリストの御名によってお祈りいたします。アーメン。